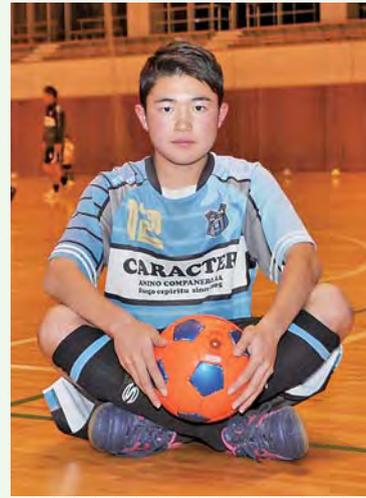


はつらつ

No.122

平和地区東谷
角田悠斗さん(15歳)



自信のドリブルで夢はプロサッカー選手

地元サッカーチームに入っていた兄の影響で小学校入学前から始めたサッカー。“より上を目指したい”と思い、中学校進学と同時にチームの先輩が所属していた強豪ジュニアユースクラブ「ACカラクトル」のセレクションを受けて入団しました。

クラブの拠点は、大網白里市。練習は週5日で、毎回の移動や勉強との両立も大好きなサッカーのためと思えば苦になりません。ポジションは競争の激しいミッドフィルダー・右サイドハーフ。練習を積んで絶対の自信があるドリブルでレギュラーを守っています。今回、フットサルの全国大会にクラブで出場しますが、ドリブルを武器に優勝を目指します。

憧れは、ドリブル技術の高いFCバルセロナのメッシ選手やネイマール選手で、夢は当然プロ選手。これからも技術を磨き、得点に絡むアシストができ、ゴールも決められる選手を目指したいです。

私のイッピン

No.21

野田地区新堀
熱田とし子さん(66歳)

元気な人生の源 “日本舞踊”



義父の勧めで始めた日本舞踊。無駄のない動きや美しさ、品格などが素晴らしく、先生も憧れの女性の手本のような方で、すぐに魅了されました。以来、常に向上心を忘れず40年近く続けています。普段の生活のつらいことや悲しいことも、日舞に没頭できる時間が少しでもあれば気持ちを前向きに切り替えられ、自分にとって“元気に生きていける源”になっています。

かけっこ大好き!!
今日も元気一杯!!



両親 和功さん・絵美子さん(飯倉台)
諸岡 朔良くん 1歳

アイドル登場

No.225

アイドル募集中! お子さんの写真に、氏名・生年月日・両親氏名・住所・電話番号・コメントを添え、郵送、持参またはメールでご応募ください。

みんなみて!みて!! アートギャラリー



お正月用に折り紙のリースを作ったよ。赤の折り鶴がとってもかわいくできてお気に入り。お部屋に飾りたいな。

平和保育所
信田美咲ちゃん



八日市場小3年
江波戸千絵さん



作品名は「天使たちの木」。『モチモチの木』という話の題名から想像して作成。空へ向かい力強く伸びた幹がポイントです。



新しくできた体育館を水彩画で再現しました。バスケットコートラインを実際の比率に合わせたところがポイントです。

栄小6年
越川優香さん



クラブ・サークル紹介

高校時代の陸上部の同級生が集まり結成したこのサークル。今では幅広い年代がメンバーに加わり、それぞれが地元の駅伝をはじめ、全国各地の駅伝やロードレースなどの各種大会に出場しています。

東総毎日駅伝大会には結成当時からほぼ毎年出場し、これまでの入賞回数は10回以上。体調を万全に整えて臨み、常に入賞を狙っています。

今後は大会に出場するだけでなく、参加者と周りの人たちが笑顔になれるユニークな大会をサークル主催で開いてみたいですね。そして、20年後、30年後も“とにかく楽しくやる”ことをモットーに活動していきたいと思っています。
(親方・大木)



Profile プロフィール

- ①設立 平成元年ごろ
- ②年齢層 20歳代～60歳代
- ③活動日時・場所
大会出場の他は主に個人練習
- ④問い合わせ
親方(サークル代表)・大木
☎080-6663-7001

弓道

全国選抜大会へ出場

匠瑛高・男子団体

左から小川さん、高橋さん、太田市長、宮川さん、藤城さん



「県上回る成績を」

11月に行われた弓道の県高校新人大会・男子団体が優勝し、「第35回全国高等学校弓道選抜大会」(愛知県名古屋市で12月23～25日に開催)に出場を決めた匠瑛高・弓道部の選手が、大会前の9日、市役所を訪れ、太田市長へ抱負を語りました。

選手はいずれも2年生の宮川颯太さん(銚子市)、藤城耕陽さん(旭市)、高橋悟志さん(野手)、小川太久弥さん(堀川)。4人を代表して宮川さんが「県大会の記録を上回る成績を残せるよう頑張りたい」と抱負を語ると、太田市長から「匠瑛」の名を全国に知らしめていただきたい。活躍を期待している」とエールが送られました。

台湾戦にワクワク

匠瑛シニアの吉田さん、常世田さん



台湾遠征メンバーに選ばれた匠瑛リトルシニアの吉田さん(左)と常世田さん

匠瑛リトルシニア所属の吉田涼太さん(八日市場第二中2年)と常世田翔太さん(銚子中2年)が、台湾との国際試合に向けた遠征メンバーに選ばれました。

俊足が武器の吉田さんは外野手として、打撃力のある常世田さんは内野手として、千葉と茨城の選手で構成する東関東地区チームに参加。12月29日～1月2日に開催の「第14回日台国際野球大会」で、日本からの他のチームとともに、台湾チームと対戦。2人とも緊張感よりもワクワクした気持ちの方が強いと話し、吉田さんは「足を生かし、守備で投手を助けて、点の原動力にもなりたい」、常世田さんは「貴重な体験。チームメイトともコミュニケーションを取りたい」と意気込みを述べました。